

【大洲市】
令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
(運動部活動の地域移行に向けた実証事業)

自治体名	愛媛県 大洲市
担当課名	文化スポーツ課
電話番号	0893-24-1734
メールアドレス	bunkasportska@city.ozu.lg.jp

1. 自治体の基本情報

基本情報

人口 (R6 1/31現在)	39,798人	部活動数	22部活
公立中学校数	9校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数 (R6 2/1現在)	998人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

地域連携・地域移行における現状・課題 (市の状況)

別表1

① 中学校生徒数

少子化の進展により、大洲市の人口は大幅に減少しており市内0歳～15歳の人口は、大洲市の各中学校生徒数推移（別表1）のとおり現在の中学校合計数の60.3%に減少する推定である。

大洲市の各中学校生徒数推移

年度	(令和5年6月現在)															
	H20年度 出生	H21年度 出生	H22年度 出生	H23年度 出生	H24年度 出生	H25年度 出生	H26年度 出生	H27年度 出生	H28年度 出生	H29年度 出生	H30年度 出生	R元年度 出生	R2年度 出生	R3年度 出生	R4年度 出生	
大洲東中	13	16	17	28	17	12	26	7	17	14	8	12	7	13	2	
大洲南中	62	76	55	61	71	56	72	56	65	58	50	50	54	45	46	
平野中	18	11	14	11	15	13	10	8	9	14	12	10	11	7	7	
脇東中	30	35	27	32	36	23	23	24	27	21	22	25	20	19	6	
新谷中	36	37	38	32	35	31	31	21	32	15	27	23	21	24	13	
大洲北中	126	134	119	145	125	107	129	115	107	99	131	105	87	100	88	
長浜中	34	36	38	45	38	38	29	38	24	20	15	14	15	8	7	
脇川中	12	16	20	15	12	15	8	8	13	8	7	4	7	4	4	
脇川中 (河辺)				1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	
計	331	361	328	370	350	296	329	277	294	250	273	244	222	220	173	

60.3%減少

② 部活動生徒数

部活動数については、令和5年度大洲市学校別部活動生徒数（別表2）のとおり、団体競技において試合成立人数に満たない中学校もあり、試合に必要な人数をそろえるために文化部の生徒を臨時で入部させなければならぬなど、課題を抱えている部もある。今後、少子化による学級数の減少により教員数も減少し、顧問が配置できない事態になれば、部活動数を削減せざるを得ない状況となることが予想される。また、令和5年5月現在、最も部活動数が多い中学校と最も少ない中学校では11部活動の差があり、文化・スポーツ活動機会の格差が大きいものとなっている。

別表2

令和5年度 大洲市学校別部活動 生徒数

種 目 試合人数・ 試合成立最低人数		別	大洲南			大洲北			平野			肱東			新谷			大洲東			長浜			肱川			部 員 数
			1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	1年	2年	計	
バスケットボール 5・5	男	6	9	15	4	8	12																		27		
	女	4	3	7	10	2	12								6	10	16								35		
サッカー 11・7	共				10	6	16						6	3	9			5	4	9	6	4	10		44		
軟式野球 9・9	共	6	13	19	10	21	31	9	5	14					8	5	13	3	5	8	2	6	8	1	5	99	
バレーボール 6・6	女	4	3	7	8	15	23	4	6	10	4	3	7								4	8	12	4	4	67	
ソフトテニス 6・4	男	9	15	24	1	3	4				2	6	8											9	0	45	
	女	3	8	11	4	7	11								9	4	13	5	6	11	9	4	13	3	2	64	
卓 球 6・6	男				9	15	24								8	9	17				4	9	13			54	
	女	3	5	8	1	5	6				4	4	8													22	
剣 道 5・3	男				2	0	2																			2	
	女				2	2	4																			4	
陸上競技	男				7	0	7																			7	
	女				2	3	5																			5	
水泳競技	男				1	4	5																			5	
	女				0	3	3																			3	
吹奏楽	共	7	6	13	3	9	12				2	12	14					4	1	5	9	3	12			56	
美 術	共				13	5	18																			18	
コンピュータ	共				18	17	35																			35	
園 芸	共				1	0	1																			1	
生 活	共				4	2	6																			6	
文 化	共	6	7	13				1	0	1											4	2	6			20	
総合文化	共										9	7	16	4	6	10								3	4	7	33
学校別合計		48	69	117	110	127	237	14	11	25	27	35	62	35	34	69	17	16	33	38	36	74	20	15	35	652	

運動部員数 483人(74.08%)
文化部員数 169人(25.92%)

③ 中学校生徒アンケート

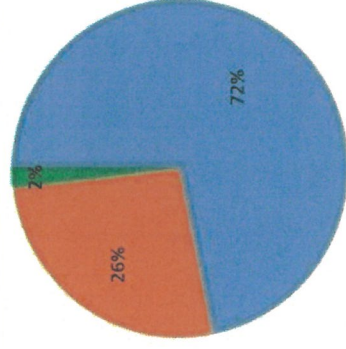
令和4年11月に実施した市内中学生（1・2年生）を対象としたアンケートにおいては、回答者625人のうち603人（≒96.5%）が「部活動に入っている」と回答しているが、そのうち118人（≒19.6%）は「他にやりたい部活動がない」と回答しており、既に生徒のニーズに応じた運動部活動の種類の確保が難しい状態となっている。

（中学校1・2年生） 「部活動の地域移行」に関するアンケート

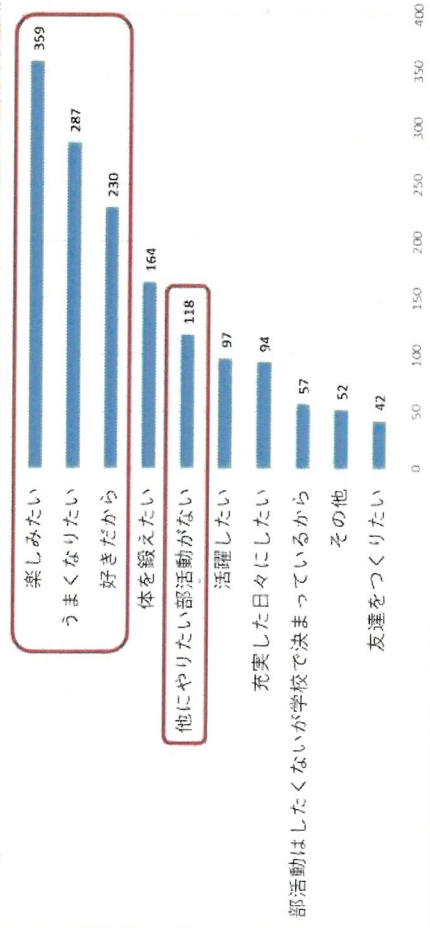
実施日：令和4年11月21日～30日
対象者：市内中学校 1・2年生 682人（11月1日現在）
回答者：625人（91.6%）
※タブレットによる回答

1. 現在、部活動に入っていますか。

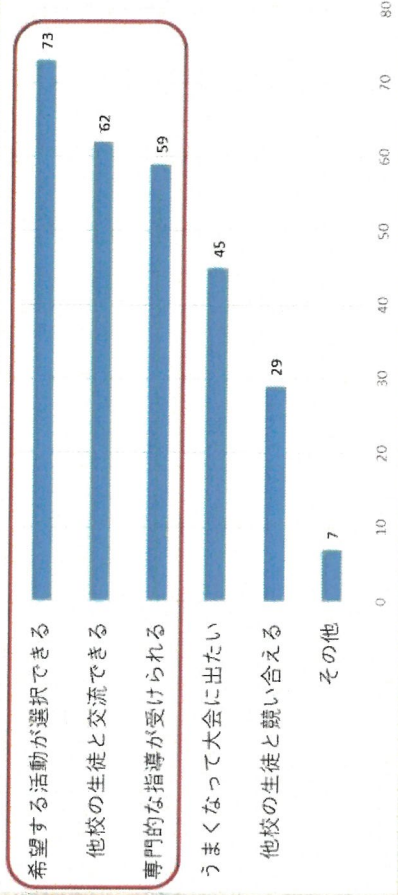
運動部に入っている	448
文化部に入っている	165
入っていない	12



2. 入部した理由は何ですか。（複数可）



4. 「地域部活動」に「入りたい」理由は何ですか。（複数可）

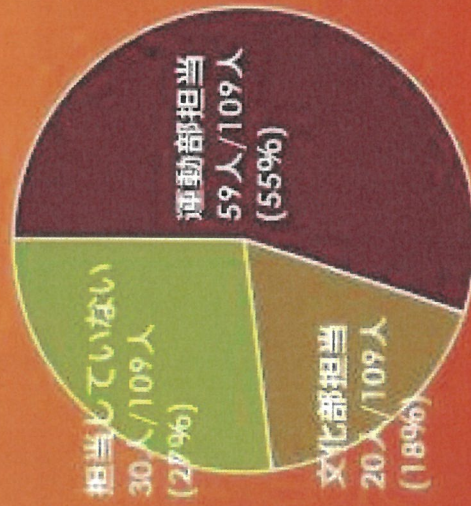


④ 部活動を支える人材の確保と育成

部活動指導を通じて、文化・スポーツ活動を支えている教員は、人事異動により、顧問を務める部活動種目が変わったり、校種が変わったりと、その継続性には課題が多い。大洲市においても、令和4年6月に市内教職員228名を対象としたアンケート（別表3）では、78%の教職員が「部活動に対して常に負担、やや負担」と回答している。また、中学校体育連盟主催の中学校校総合体育大会をはじめ、様々な大会やコンクール等で教員がその運営スタッフや審判等を担っているのが現状であり、指導者同様、教員に頼ることのない人材確保や育成が必要である。

「大洲市部活動の地域移行」に関するアンケート結果 (中学校教職員)

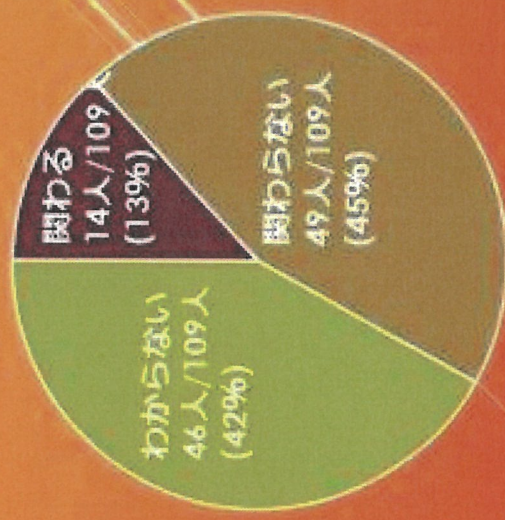
① 部活動を担当 していますか？



② 部活動に対して負担を 感じていますか？



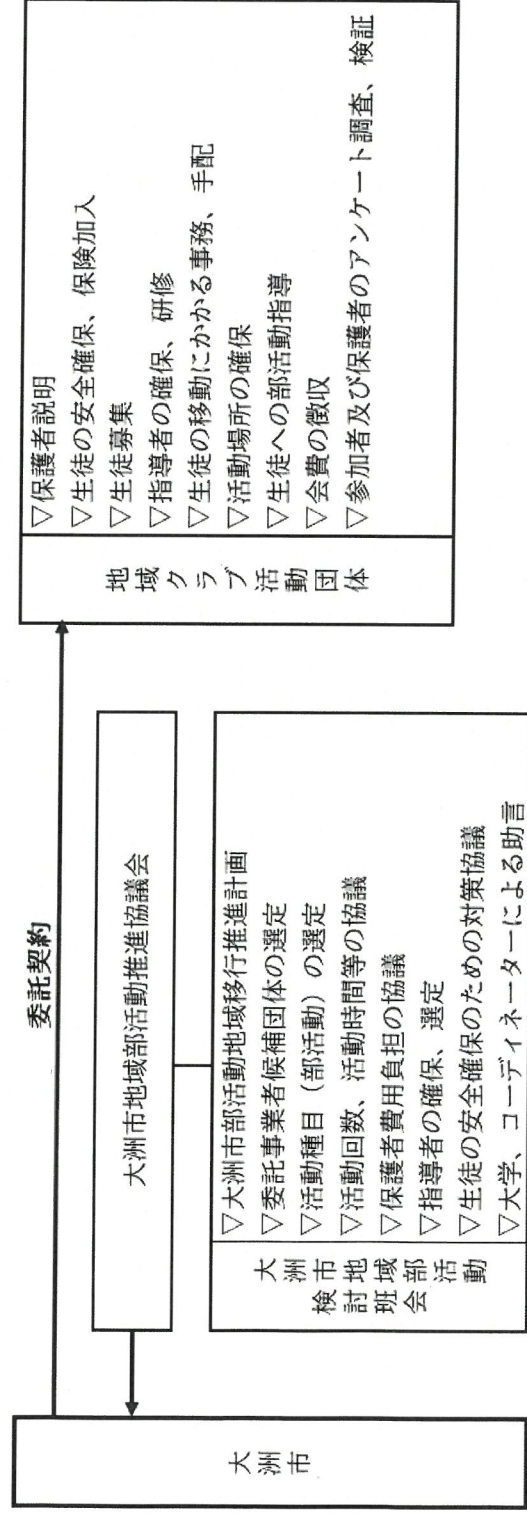
③ 休日部活動に 関わりますか？



2. 実証内容と成果

運営体制・役割

① 運営体制図



【大洲市地域部活動推進協議会】

大洲市立中学校における部活動について、生徒がスポーツ・文化・芸術活動に継続して親しむことができる機会の確保、併せて、教職員の働き方改革に対する支援体制構築に向け、大洲市地域部活動推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。協議会では、地域移行に向け、国・県のガイドライン及び本推進計画の内容を踏まえ、地域や学校の実情に応じた新たな地域スポーツクラブ活動の在り方（活動時間、活動場所、会費、指導者、保険等）とともに、休日の運動部活動の地域連携や地域スポーツクラブ活動への段階的・計画的な移行に向けた方針、具体的な取組の内容、見込まれる効果やスケジュール等について定期的に情報共有・連絡調整を行い、緊密に連携する体制を整備する。

内容

- ▽ 活動種目：地域の実情、経過等を鑑み各中学校長と協議を重ね活動種目を選定する。
- ▽ 活動時間：活動場所への移動について、距離、時間等を考慮し検討する。
- ▽ 活動場所：学校施設等を活用し、保護者の負担の軽減を図る。
- ▽ 会費：必要な範囲で、可能な限り低廉な会費を設定する。
- ▽ 指導者：指導者の確保及び資質の向上、発掘、研修を行う。
- ▽ 保険：休日の活動に対して加入するスポーツ安全保険等に加加入する。
- ▽ 活動内容：適切な休養日等の設定を含めバランスのとれた活動方針を検討する。
- ▽ 調査：生徒、保護者及び教職員への実態調査及び研究を行う。
- ▽ 連携：愛媛大学、スクールソーシャルワーカー等と連携し進める。

② 活動する施設の取組

市が所有する公共の社会教育施設やスポーツ施設等について、事前の調整会議等を実施するなど地域クラブ活動の運営団体・実施主体が活用しやすくなるよう工夫し、低廉な利用料で利用できるように努める。

③ 会費の適正化に向けた取組

地域クラブ活動の運営団体・実施主体と連携を図り、生徒や保護者、地域住民等の理解を得つつ、活動の維持・運営に必要な範囲で、可能な限り低廉な会費を設定するよう努める。

④ 適切な保険の加入に向けた取組

地域クラブ活動の運営団体・実施主体に対して、活動に参加する生徒や指導者等が指定する保険への加入を義務付けるとともに、けがや事故が生じても適切な補償が受けられるよう保険制度の適切な運用を図る。

⑤ 教師等の兼職兼業について

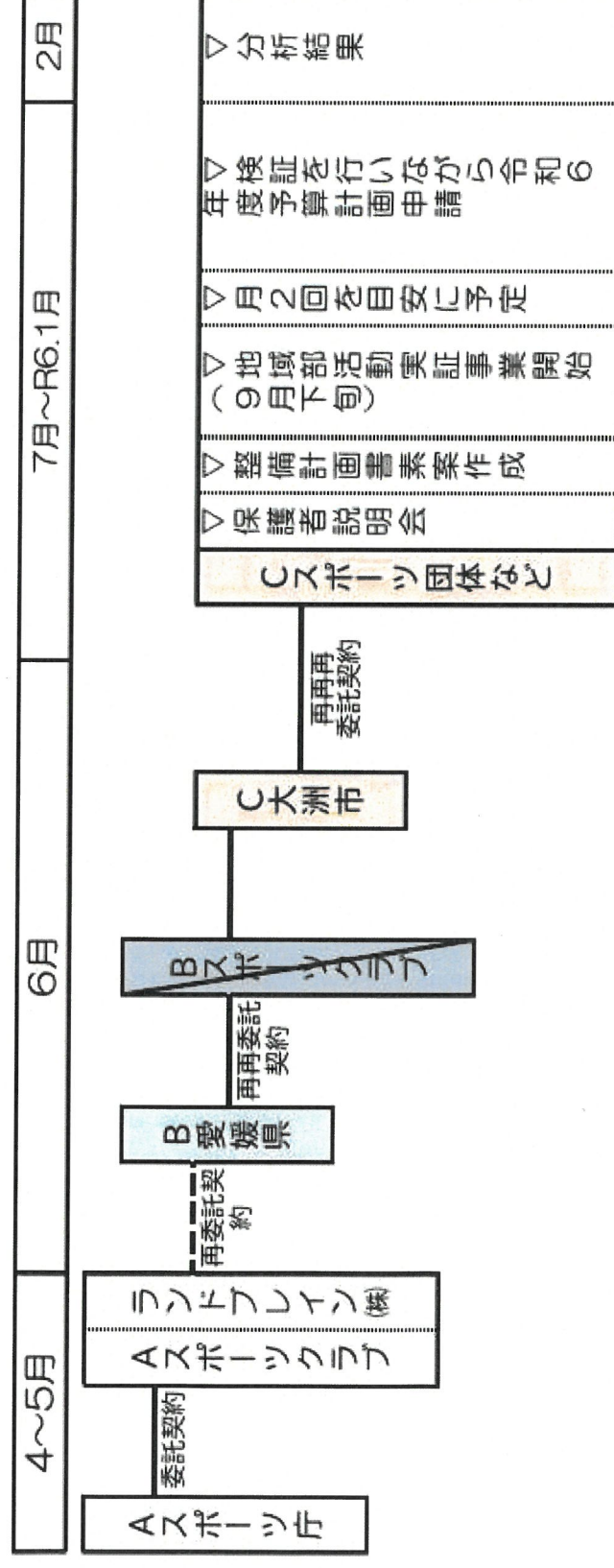
教師等を指導者として雇用する際には、継続的・安定的に指導者ができるよう留意する。その他、兼職兼業に係る労働時間等の確認等を行うに当たっては、厚生労働省の「副業・兼業の促進に関するガイドライン」も参照し、地域クラブ団体等、双方が雇用者等の適切な労務管理に努める。

⑥ 指導者、生徒の安全確保

国のガイドラインや県の指針等に則り、地域クラブ活動の運営団体は、年間の活動計画（活動日、休養日及び参加予定大会の日程等）及び毎月の活動計画（活動日時・場所、休養日及び大会参加日等）を立て、公表できるように支援する。地域クラブ活動の運営団体は、市と連携して生徒の心身の成長に配慮し、健康に生活を送れるよう、国のガイドライン及び県の指針等に準じ、適切な活動計画を立て、それらを遵守した活動を行う。

① 事業スキーム・今後の取組み

大洲市地域部活動推進事業スキーム



今後の取組み

- ▽ 実証事業対象中学校の選定
- ▽ 実証事業対象部活動種目の選定（野球orサッカー）
- ▽ 指導者の確保
- ▽ 生徒の移動、安全確保の対応
- ▽ 保護者負担
- ▽ 人口推移からみた大洲市の方針の検討
- ▽ 文化部の対応方針
- ▽ 既存部活動以外の選定（大洲市の特徴ある部活動 カヌー等）
- ▽ アスリート発掘のための活動
- ▽ 県内プロスポーツや大学、高等学校との指導、クリニックの開催
- ▽ 休日だけでなく、平日の移行に向けた準備

② 事業スキーム・今後の取組み

令和5年度スケジュール

	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
国	ランドブ レインと 契約										
県		県と市で 契約			推進計画 策定						
大洲市		補正 予算	委託業者 選定	委託業者 契約		推進計画 着手		推進計画 修正		推進計画 修正	推進計画 策定
				保護者等 説明			令和6年度の 方針確認				
推進協議会			第1回 開催				第2回 開催			第3回 開催	
検討班会		第1回 開催					第2回 開催			第3回 開催	
スポーツ団体				委託業者 契約	地域部活動実施						
				保護者等 説明							
対象中学校					月2回を目安に地域部活動実施						

地域スポーツクラブ活動の運営実績

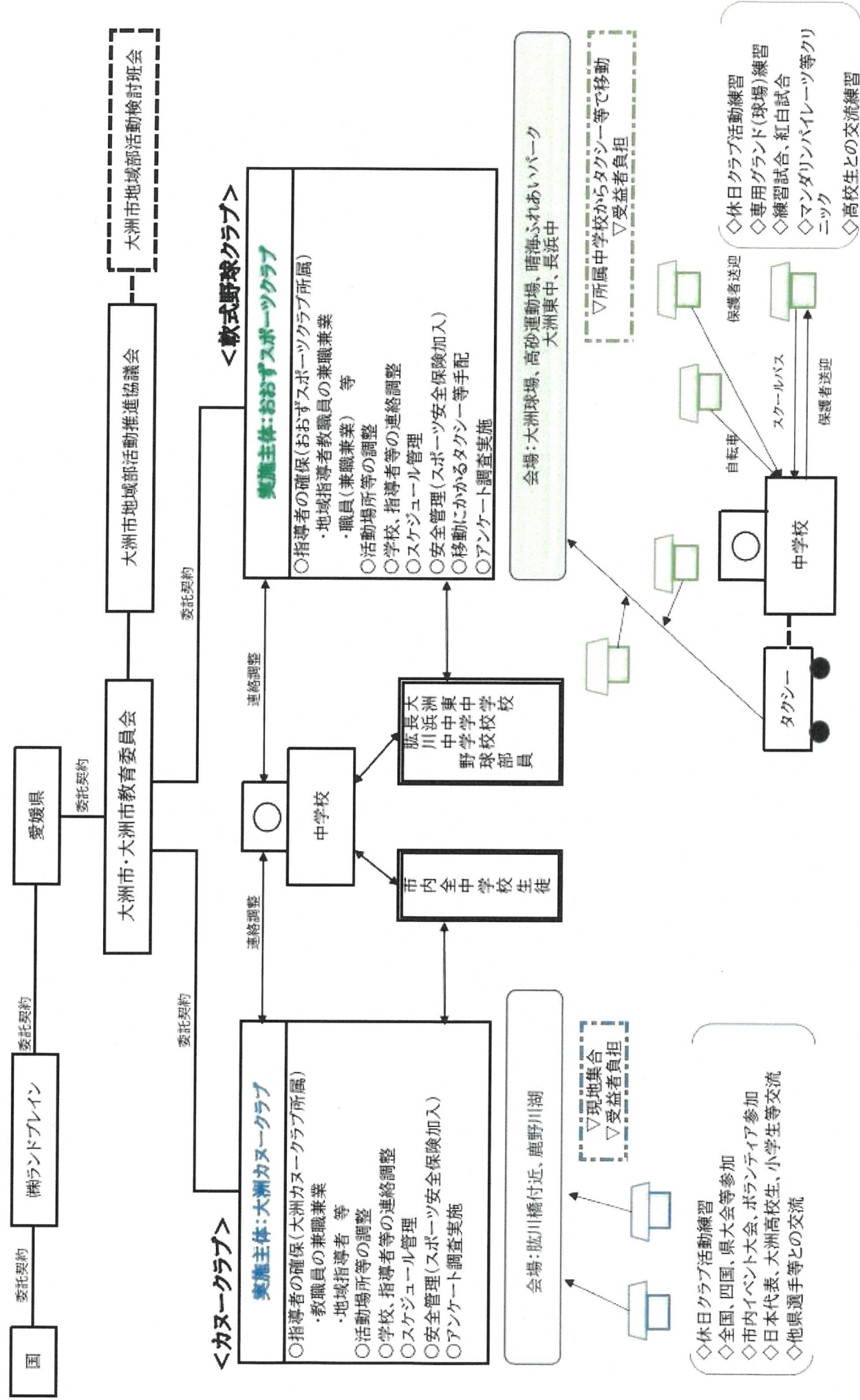
地域クラブ活動に取り組んだ種目	軟式野球	合同部活動数	3校
	カヌー	拠点校数	市内全中学校（9校）

主な取組事例

① 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	軟式野球クラブ	カヌークラブ
合同部活動校名	大洲東中学校 長浜中学校 肱川中学校	市内（9校）
運営主体名	特定非営利活動法人おおずスポーツクラブ	大洲カヌークラブ
運営類型	総合型地域スポーツクラブ運営型	体育・スポーツ協会運営型
1 か月あたりの平均的な活動回数	月2回程度	月2回程度
指導者の主な属性	教職員の兼職兼業	クラブ所属指導者
活動場所	主に運動公園野球場	肱川・鹿野川湖
主な移動手段	保護者送迎・タクシー	保護者送迎
1 人あたりの参加会費等（年額）	1,000円	
1 人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年	

② 運営体制図



ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 大洲市地域部活動推進協議会を開催（3回）し方針を決定した。
- 大洲市地域部活動推進計画を策定した。
- 実施する部活動（軟式野球クラブ）について、保護者説明会を実施した。
- 実施する部活動（カヌークラブ）について、市内全中学校生徒に活動開始のチラシを配布した。
- 実施にあたり、軟式野球クラブは「NPOおおすスポーツクラブ」、カヌークラブは「大洲カヌークラブ」に委託し実施した。

特に工夫した事項

- 大洲市地域部活動推進協議会においては、地元大学の准教授に加わっていただき、連携を図るよう努めた。
- 地元を活かした部活動として、新たに「カヌークラブ」を創設し、小学校から社会人に至るまでの活動として、新たに「カヌークラブ」を創設した。

成果と課題・今後の対応方針

- 委託事業の契約が8月、完了報告が2月であるが、契約外も部活動は稼働中である。事業の目的は何なのか改めて考える必要がある。
- 新たな「カヌークラブ」は、育っていく子供たちに対して、あらゆる意味で大きな役割を果たしている。

イ. 指導者の質の保証・量の確保

取組事項

- 軟式野球クラブは、実証事業1年目であり混乱を避けるため教職員の兼職兼業（軟式野球クラブ）で実施した。
- カヌークラブにおいては、クラブ会長（国体出身）が指導者となり積極的な技術指導を実施した。

工夫した事項

- 独立リーグプロ野球選手の直接的な指導を取り入れ、充実した部活動を取り組んだ。

成果と課題

- 現状では、質・量の確保は、過疎地域において解消は難しく、DX化が必要と考える。

ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

●軟式野球クラブは、特定非営利活動法人おおずスポーツクラブ、カヌークラブは「大洲カヌークラブ」に委託した。

成果と課題・今後の対応方針

- 委託事業とし、地域部活動としての受益者負担の必要性、学校管理外事業として、保護者への意識付けを行った。また、行政主体の事業活動ではないものとなるよう努めることができた。
- 前述で述べた通り、委託事業契約を4月初旬（春休終了、入学式）～3月下旬（春休み開始）で締結できるようなスケジュールを確立できないと、生徒、保護者の混乱を招く。（部活動は委託期間だけ実施しているわけではない。）
- 委託事業とするなら、経費を負担する発注者（国：令和5年度はランドブレイン）と受注する市が契約し、少しでも早い段階で事業実施をしたい。
- 契約時期により、部活動生徒数に変動があり種目の選定、保護者説明の内容が変化するため、事業方針、事業費が変化する。

エ：面的・広域的な取り組み

取組事項

●片道20km以上の学校があるため、軟式野球クラブは、保護者送迎、タクシーでの移動を試みた。

成果と課題

- 実施しようとする中学校近隣にタクシー業者もなくなり、結果的に保護者送迎が主なものとなった。
- 通っている中学校や、部活動種目によって違いが出てくるため、公平性を保つことができない。

オ：内容の充実

取組事項

●生徒ファースト（生徒のニーズに対応）を原則として運営する。

工夫した事項

●学校ではすることができない、野球場で練習を実施することができた。

成果と課題

- 充実した活動ができ、保護者から「平日も実施して欲しい」などの要望が多く寄せられた。

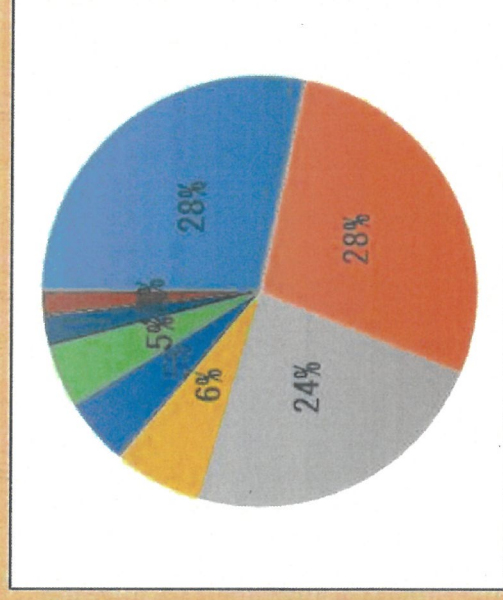
カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- 保護者負担の必要性について、PTA広報、PTA研究大会、市広報、学校説明会アナウンス行った（令和4年度から）。
- 市内全中学校保護者アンケートを実施した。

4. 「部活動の地域移行」は、地域のスポーツ団体等が担うこととなるため、家庭の費用負担が必要となります。月ごとの費用負担額は、どれくらいが適当だと考えますが。

1,000円未満	233
2,000円未満	229
3,000円未満	194
5,000円未満	53
地域移行に反対のため、答えられない	42
必要とする経費全額	39
4,000円未満	19
その他	15



成果と課題

- アンケート調査結果からみると、費用負担をすることの必要性は認識しているものの、「学校部活動は学校管理の無償でするもの」が払拭できていない。
- 自由記載欄「休日活動への送迎、指導者への対価として、保護者負担を考えるなら学校教育での部活動でなくて良いのではないかと思う」とあり、「学校部活動は、学校管理では行わない」等の軸となる国方針が必要ではないだろうか。

キ：学校施設の活用

取組事項

- 実施場所の選定にあたっては、部活動内容がより充実した内容で実施できるよう選定した。
軟式野球クラブ：野球場 カヌークラブ：弘川河川、鹿野川湖カヌー漕艇場

成果と課題

- 会場使用にあたり減免の要望があり、今後、地域クラブ活動種目が増加することで要望も多くなると予想される。減免措置をすれば、現在利用している地域クラブ活動以外の団体との線引きが困難となる。

① 軟式野球クラブ：NPOおおずスポーツクラブにおける取組

取組事項

- 協議会や関係者（学校、指導者等）との打合せにより、実施回数（全10回）、予定日（計画）の決定や活動場所の調整、併せて規約、業務委託契約書、緊急対応マニュアル等の作成
- 保護者説明会の実施（9月22日）
- 指導者や保護者との連絡調整（メールやSNSによる連絡体制整備）
- スケジュール管理とその他の調整（中止した日の振替や活動場所の調整や移動手段のタクシー手配など）
- アンケート調査を実施（参加生徒、保護者、指導者）

特に工夫した事項

- 移動手段としてタクシー利用できることを保護者に通知
- 毎回、活動日前日にクラブから一斉メールにて連絡
- 保護者との連絡をメールにて直接行うことで、休み連絡やタクシー利用の有無などが速やかに対応できた

取組の成果

- アンケートの結果からも地域クラブ活動への参加は全員（100%）が良かったと回答いただき、また来年度以降もほぼ参加したいという意見であった。
- 保護者からも活動費が必要になっても参加させたいという回答が全員であり、地域クラブとしての活動をご理解いただけたと思う。
- 指導者（今回は教員）も活動の内容、事務局との連携も含め満足いただけた。

今後の課題と対応方針

- 実際の野球場を利用することで子供たちも喜んでいたが、移動手段は保護者の協力がないとタクシー利用では経費がかかる。
- 参加人数が想定より少なかった（これまでの部活動に対する意欲、他の競技がしたいが学校の部活にないので参加している等の理由）
- 学校の部活と同じ感覚で地域クラブ活動を捉えてしまうと、活動費の負担や試合に出るためのチーム活動（登録）は協議が必要。

② カヌークラブ：大洲カヌークラブにおける取り組み

取組事項

- 愛媛県内になかったカヌー部を「地域スポーツクラブ」として位置付けた。
- カヌーシーズン終了後の10月に活動開始したため、当初の目標部員10名を下回る4名の活動となった。
- 体験会の開催や市内中学校全生徒へチラシを配布することで、新入部員獲得を目指した。
- 基本、毎週日曜日の4名の活動とはなったが、クラブ小学生も練習に参加するなどクラブ活動が活性化した。
- 大会にも参加することができ、経験を積むとともに競技力の向上につながった。

特に工夫した事項

- 地域の特性として、肱川を練習活動拠点とし、県内唯一のカヌー部である大洲高等学校カヌー部と合同練習することもできた。
- 引き続き、新入部員の勧誘とともに競技力向上に取り組んでいく。

取組の成果

- 地域スポーツクラブとしての定着を図るとともに、少人数ではあるが、競技力の向上につながった。
- クラブの小学生や高校生と一緒に練習することで相乗効果を図ることができた。
- 高知県、兵庫県、徳島県の大会に参加することで、経験を積むとともに競技力の向上につながった。
- 国や大洲市の協力を得ながら、活動を行えることができ、来年度以降の活動の基盤ができた。

今後の課題と対応方針

- 引き続き、新入部員の勧誘を行い、地域スポーツとして定着を図る。
- 練習日を増やし、大会等にも積極的に参加することで、競技力向上を図る。
- 指導者の確保並びに指導者の資質向上を図っていく。

今後「地域スポーツクラブ活動」へ移行されます！

休日の学校部活動は、

部活動は、これまで学校教育の一環として行われ、大きな意義や役割を果たしてきました。しかし、少子化の影響や学校の働き方改革等により、現在の部活動の形態を継続していくことは難しい状況です。大洲市は、子供たちのスポーツ・文化芸術に親しむ環境を維持するための「部活動改革」を推進します。国・県の方針を踏まえ、持続可能な部活動となるよう環境を整備していきます。

【大洲市地域スポーツクラブ活動(実証事業)の方向性】

- 令和5年10月から、休日(土・日・祝日)に部活動(実証事業)として、段階的に規模へ移行します。(令和5年度種目及び学校)
- 軟式野球クラブ(大洲東中・長浜中・大洲中の野球部員のみ)
- カヌークラブ(軟式) (全中学校部員者のみ)
- 夏休みの部活動は、原則として、(学校から部活動がなくなるわけではありません)

【令和5年度 大洲市地域スポーツクラブ活動(実証事業)のイメージ】

	現行の学校部活動							地域スポーツクラブ活動 (軟式野球・カヌー)
	月	火	水	木	金	土	日	
在り方	学校部活動(現状のまま) (5日以内)							原則どちから1日
指導者	教職員							総合型地域スポーツクラブ等の指導者 地域の指導者 教職員の兼職兼業
位置づけ	学校教育活動の一環							地域のスポーツ活動
運営主体	各学校							大洲市教育委員会 NPO 法人おおすスポーツクラブ 大洲カヌークラブ

「地域スポーツクラブ活動」って?

- 「地域スポーツクラブ活動」の運営主体は、「大洲市教育委員会」、「NPO 法人おおすスポーツクラブ(軟式野球クラブ)」、「大洲カヌークラブ(カヌークラブ)」です。
- 活動形態として、「合同部活動」「拠点校方式」を考えています。
「合同部活動」：軟式野球・カヌー・単独校では運営が困難な部を、複数の学校が合同クラブ活動で実施。
「拠点校方式」：カヌー・カヌー・一つの学校等を拠点として、他のどの学校からも参加できる形で実施。
- 指導者は、「おおすスポーツクラブ」、「大洲カヌークラブ」に登録された者や地域の指導者、または兼業兼業を希望し承認を受けた教職員です。

【問い合わせ】 ▽大洲市教育委員会 文化スポーツ課 24-1734

▽NPO 法人おおすスポーツクラブ 24-7228

▽大洲カヌークラブ 090-3787-5998

大洲市地域スポーツクラブ活動体制整備事業(実証事業)の概要

1 ビジョンの策定

- 大洲市地域スポーツクラブ活動推進計画の策定(12月)

※令和5年度の地域スポーツクラブ活動は、休日出日の設定とし、基本的に練習のみとする。

2 委託事業者

- 「おおすスポーツクラブ」、「大洲カヌークラブ」を選定し委託契約

3 活動する種目等の決定

- 軟式野球クラブ(大洲東中学校、長浜中学校、大洲中学校)
- カヌークラブ(大洲市内全中学校対象)

4 活動回数、活動時間等

- 実証事業として1か月に2回程度

基本的には、愛媛県及び大洲市の部活動指針に沿って決定する。令和5年度においては、実証事業として1か月に2回程度から開始し、次年度から段階的に回数を増やす。

5 費用負担の検討、財源の確保

- 受益者負担：軟式野球クラブ 5,000円(ただしR5 1,000円/年)
カヌークラブ 2,000円(ただしR5 1,000円/年)

地域スポーツクラブ活動は学校管理外の活動であるため、指導者報酬、保険料(指導者、参加者)、会場使用料、消耗品費、移動費、運営事務に係る費用等の運営費用は受益者負担を原則とする。

6 生徒の移動

- 委託業者との協議による
▽軟式野球クラブ：3中学校から会場までのタクシー移動を計画。
※会場の設定、指導者の配置等も含め対象中学校と要協議
▽カヌークラブ：現地集合、解散

7 保護者説明会の実施、事業開始の時期

- 軟式野球クラブ：3中学校軟式野球部員の保護者に説明(9月)、10月から事業開始
- カヌークラブ：説明会は省略し、募集案内配布(9月)、10月から事業開始

8 スポーツ安全保険の加入

- 学校管理外の地域活動 生徒 800円/人 指導者 1,850円/人(64歳以下)
地域スポーツクラブ活動は、学校管理外の地域活動であることから、既存の部活動災害共済給付の対象外となるため、生徒が安心して活動に参加できるよう、自分の経費等を補償する保険や個人賠償責任保険への加入が求められ、大洲市においても加入を必須とする。(現在の学校賠償保険と同等)

9 指導者の確保

- 「教職員の兼職兼業」、「マングランパイレーツ」、「帝京第五高校野球部」、「カヌー指導員」、「大洲高校カヌー部」等

10 ニーズの把握

- 実証事業検証も含め保護者、生徒、関係者等のアンケート調査

■ Q & A

「子どもたちが継続的にスポーツに親しむ機会の確保」、「学校の働き方改革の推進」、国による「運動部活動の地域移行」の提言があり、令和5～7年度の3年間で全国的に推進されます。これについて、現在の状況をQ&Aにまとめてみました。

Q1 なぜするの？

A1 少子化による生徒数の減少が進行しており、生徒のニーズに合った活動機会を提供するためです。また、競技経験のない教師が指導できるを得ない状況や、休日部活動の指導にかかる業務負担の改善のためです。(LP 参照)

Q2 いつするの？

A2 改進黨進期間として、令和5～7年度の間で実施されます。

Q3 令和8年度からは、市内全域ですの？

A3 3年間(5～7年度)の実証、人口推移、地域性、教職員の働き方改革等を踏まえ、大洲市の方針を確立し決定します。

Q4 なぜ、3中学校(大洲東、長浜、膳川)なの？他の中学校はしないの？

A4 令和5年度においては、団体競技の試合成立人数に満たない中学校を選択し、「大洲市地域部活動推進協議会」で協議のうえ決定しています。令和6年度以降においては、3中学校に限定せず実施することも検討する予定です。(例：軟式野球の休日練習は、平野運動公園野球場で全中学校の練習、練習試合等)

Q5 部員は必ず参加しなければならぬの？

A5 強制ではありません。ただし、子どもたちがスポーツに親しむ機会の確保に向け事業を推進しています。

Q6 地域スポーツクラブ活動は、中学校の先生は指導しなくなるの？

A6 教員が希望すれば兼職兼業許可により可能です。

Q7 どこが主体(管理運営)で運営するの？

A7 学校や市教委ではなく、スポーツクラブ等の民間事業者となります。

Q8 事故が起きた場合どうするの？

A8 現在、中学校で加入している同等のスポーツ安全保険において対応します。

Q9 移動にかかる時間、経費が必要となるの？

A9 基本的に学校管理外の活動であるためスクールバス等の使用ができません。よって、民間バス、タクシー、保護者送迎等が必要となります。3年間の実証を踏まえ保護者等の負担が最小限になるよう検討を進めます。

Q10 受益者負担は、今後上昇するのではないの？

A10 令和5年度は国、市の支援がありますが、支援が終了すれば上昇します。併せて、活動体制の変化により上昇します。

Q11 合同チームで大会に出場できないの？

A11 出場可能です。ただし、令和5年度においては、出場はしません。よって、練習(練習試合)、交流のみの活動となります。

Q12 大洲市の地域スポーツクラブ活動の練習に他市町の生徒は参加できないの？

A12 令和5年度においては、できません。ただし、隣接市町との協議を重ねながら検討を進めます。

Q13 現在通っている中学校に希望部活動がない場合、地域スポーツクラブ活動に参加していいの？

A13 令和5年度においては、できません(カヌークラブは除く)。今後は、協議を重ねながら検討を進めます。

Q14 現在所属している部活動の生徒が、地域スポーツクラブ活動に参加できるの？(例：Bの生徒が軟式野球クラブに参加)

A14 令和5年度においては不可です。今後は、検討する予定です。ただし、カヌークラブにおいては、現在所属している部活動等に影響しない範囲での参加は可能です。

Q15 結局、地域スポーツクラブ活動は、過去に実施していた地域指導者の方針と一緒にではないの？

A15 今年度から実施する地域スポーツクラブ活動は、学校管理外となります。よって、令和5年地域指導者は、おおよそスポーツクラブ、大洲カヌークラブへの登録が必要となります。

Q16 文化部はしないの？

A16 今後、次のステップで「大洲市地域部活動推進協議会」等で協議する予定です。

Q17 地域スポーツクラブ活動中学校とそうでない中学校での負担に差があると思うのですが？

A17 3年間の実証を踏まえ最小限になるよう検討を進めます。

(活動写真：軟式野球クラブ、カヌークラブ)

【軟式野球クラブ】



【カヌークラブ】



3. 今後の方向性

令和6年度における事業計画、スケジュール

市教育委員会における体制を強化し、令和8年度の運動部活動完全移行に向けて推進する。

① 委託事業者の選定 (5月)

○「おおずスポーツクラブ」、「大洲市スポーツ協会」を選定

② 活動する種目等の決定 (5月)

○カヌー部 ○軟式野球部 ○サッカー部 (令和6年度新規)

※団体種目で試合成立人数に達しない種目 (中学校) を設定

③ 保護者等説明会の実施、事業開始の時期

○活動種目部員の保護者等に説明 (7～8月)

④ 活動回数、活動時間等の決定 (5月)

○1か月に2回以上で設定

⑤ 費用負担の検討、財源の確保 (5月)

○受益者負担が原則。

(R6:2,000円(案)) (R5:1,000円)

⑥ スポーツ安全保険の加入 (7～8月)

○学校管理下外の地域の活動

生徒800円/人 指導者1,850円/人 (64歳以下)

⑦ 指導者の確保 (7～8月)

○「委託業者に登録の有資格者」、「教職員の兼職兼業申請」、「愛媛MP指導」、「愛媛FC」、他

⑧ ニーズの把握 (5月、R7/2月)

○保護者、生徒、関係機関等のアンケートの実施

⑨ 開始時期

○各中学校の方針、スポーツクラブでの新人戦への大会参加
検討も含め7月から開始

■ アンケート調査結果

【保護者】 対象:9 名 回答:9 名

Q1 参加させてどうでしたか？

- ① 良かった → (Q2 に進んでください)
- ② 良くなかった → (Q6 に進んでください)

【回答】

① 良かった	9 人
② 良くなかった	0 人

Q2 Q1 で「①良かった」と回答した人に聞きます。何が良かったですか？(複数回答可)

- ① 子どもが「良かった」と言っていた
- ② 他校の生徒と交流ができた
- ③ 学校でやっている内容よりも充実していた
- ④ 指導が良かった(見て、子どもから聞いて)
- ⑤ 練習場所(野球場・カヌー漕艇場等)が充実していた
- ⑥ その他(自由記載)

【回答】

① 子どもが「良かった」と言っていた	7 人
② 他校の生徒と交流できた	7 人
③ 学校でやっている内容よりも充実していた	6 人
④ 指導が良かった(見て、子どもから聞いて)	6 人
⑤ 練習場所(野球場)が充実していた	5 人
⑥ その他	・野球の楽しさを感じてくれた

Q3 来年(今後)も参加させたいですか？

- ① 参加させたい
- ② 参加させたくない → (Q6 に進んでください)

【回答】

① 参加させたい	9 人
② 参加させたくない	0 人

Q4 Q3 で「①参加させたい」と回答した人に聞きます。今回の実証事業は国の補助事業のため年会費 1,000 円とスポーツ安全保険代 800 円のご負担をいただきました。今後(補助事業終了後)は継続して活動するために活動費が必要になった場合でも参加させたいですか？

- ① 参加させたい
- ② 活動費が必要なら参加させたくない → (Q7 に進んでください)

【回答】

① 参加させたい	9 人
② 活動費が必要なら参加させたくない	0 人

Q5 Q4 で「①参加させたい」と回答した人に聞きます。月の負担額はどれくらいをイメージしますか？

※休日(土日)のどちらか 1 日、月 4 回として

① 3,000 円以下

② 5,000 円以下

【回答】

① 3,000 円以下	7 人
② 5,000 円以下	2 人

Q6 Q1 で「①良くなかった」と回答した人に聞きます。何が良くなかったですか？(複数回答可)

① 子どもが「良くなかった」と言っていた

② 他校の生徒との交流が大変だった

③ 内容がつまらなそうだった

④ 指導が良くなかった

⑤ 練習場所への移動が大変だった

⑥ その他(自由記載

)

【回答】

① 子どもが「良くなかった」と言っていた	0 人
② 他校の生徒との交流が大変だった	0 人
③ 内容がつまらなそうだった	0 人
④ 指導が良くなかった	0 人
⑤ 練習場所への移動が大変だった	0 人
⑥ その他	

Q7 今後、改善して欲しいこと、不安なことはありますか？(複数回答可)

① もう少し回数を増やして欲しい

② もっと長い時間やって欲しい

③ 毎日やって欲しい

④ もう少し回数を減らして欲しい

⑤ 実施会場を近いところにして欲しい

⑥ 指導者を変えて欲しい

⑦ 参加費を無くして欲しい

⑧ その他(自由記載

)

【回答】

① もう少し回数を増やして欲しい	3 人	※場所が近くであれば…
② もっと長い時間やって欲しい	3 人	※月 4 回なら、2 回は 1 日するとか…
③ 毎日やって欲しい	3 人	
④ もう少し回数を減らして欲しい	1 人	※東中と肱川中の合同練習ができないため
⑤ 実施会場を近いところにして欲しい	1 人	
⑥ 指導者を変えて欲しい	0 人	
⑦ 参加費を無くして欲しい	1 人	※現状維持か安く
⑧ その他	◎送迎方法(タクシー以外に何かあれば助かります) ◎楽しく通ってくれました。今日はこう指導されたんよ、こうしたらいいんよ、と言われたと嬉しそうに話し	

てくれました。野球のルールもあまり理解できてない部分も多く大変だったとは思いますが、皆と一緒に楽しめて良かったです。もっと早く地域移行して頂きたかったです。

◎3年生はいつまで参加できますか？4月スタートで3月終了ならできるだけ参加したいですが、4月スタートで6月ぐらいまでは各学校での練習を優先しないと各チームの総体に影響してくると思います。東中と肱川中は長期休暇以外は土曜日に合同練習を時々していたのですが、地域移行がスタートするとその時間も取れなくなってしまったのもったいなかったです。

◎タクシー送迎があるのは助かりました。自宅から学校までは自己負担で良いので、できるようになればもっと助かります。しっかり指導できる人がいればいいと思う。今のままでは先生の負担が減らないのでは？月に1～2回、練習試合等あってもいいと思った。勝つ喜び、負けて悔しいを味わってほしい。

■ アンケート調査結果

【参加中学生】 対象:9人 回答:9人

Q1 参加してどうでしたか？

- ① 良かった(Q2に進んでください)
- ② 良くなかった(Q4に進んでください)

【回答】

① 良かった	9人
② 良くなかった	0人

Q2 Q1で「①良かった」と回答した人に聞きます。何が良かったですか？(複数回答可)

- ① 楽しかった
- ② 他校の生徒と交流ができた
- ③ 内容が充実していた
- ④ 指導が良かった
- ⑤ 練習場所(野球場・カヌー漕艇場等)が充実していた
- ⑥ その他(自由記載)

【回答】

① 楽しかった	8人
② 他校の生徒と交流できた	9人
③ 内容が充実していた	4人
④ 指導が良かった	5人
⑤ 練習場所(野球場)が充実していた	7人
⑥ その他	

Q3 来年も参加したいですか？

- ① 参加したい
- ② 参加したくない

【回答】

① 参加したい	8人
② 参加したくない	0人
※どちらともいえない	1人

Q4 Q1で「②良くなかった」と回答した人に聞きます。何が良くなかったですか？(複数回答可)

- ① 楽しくなかった
- ② 他校の生徒との交流が大変だった
- ③ 内容がつまらなかった
- ④ 指導が良くなかった
- ⑤ 練習場所への移動が大変だった
- ⑥ その他(自由記載)

【回答】

① 楽しくなかった	0 人
② 他校の生徒との交流が大変だった	0 人
③ 内容がつまらなかった	0 人
④ 指導が良くなかった	0 人
⑤ 練習場所への移動が大変だった	0 人
⑥ その他	

Q5 今後、改善して欲しいことはありますか？(複数回答可)

- ① 試合、大会に出場したい
- ② もっと長い時間やりたい
- ③ 毎日やりたい
- ④ もう少し回数を減らして欲しい
- ⑤ 実施会場を近いところにして欲しい
- ⑥ その他(自由記載

)

【回答】

① 試合、大会に出場したい	3 人
② もっと長い時間やりたい	5 人
③ 毎日やりたい	3 人
④ もう少し回数を減らして欲しい	1 人
⑤ 実施会場を近いところにして欲しい	2 人
⑥ その他	・ボールを増やして欲しい ・レガシーメタルのバットが欲しい

■ アンケート調査結果

【指導者】 対象:2名 回答:2名

Q1 参加してどうでしたか？

- ① 良かった
- ② 良くなかった

【回答】

① 良かった	2人
② 良くなかった	0人

Q2 Q1の回答の具体的な理由をお書きください。(何が良かった、何が良くなかった:自由記載)

- ◎学校の枠を超えて野球を楽しめたり、マンダリンの人に来てもらって教えていただけたのが良かった
 - ◎大洲球場を使用できたこと、部員の少ない肱川中にとって非常に良かったです

Q3 次年度も参加したいですか？

- ① 参加したい
- ② 参加したくない

【回答】

① 参加したい	2人
② 参加したくない	0人

Q4 指導者間の連携、事務局との連携、連絡などについていかがでしたか？

- ① うまくできたと思う
- ② あまりうまくできたとは思わない

【回答】

① うまくできたと思う	2人
② あまりうまくできたとは思わない	0人

Q5 待遇(謝金など)についてはいかがでしたか？

- ① 満足している
- ② あまり満足していない
- ③ 不満である

【回答】

① 満足している	2人
② あまり満足していない	0人
③ 不満である	0人

Q6 今後、改善して欲しいことはありますか？(自由記載)

【回答】

- ◎バット、ボールなどの備品の充実度は今後の課題かと思います。次年度も取組が継続されるようであれば、大洲球場を拠点にできればいいかと思います。
- ◎不参加の生徒は土日とも部活ができず運動機会が減ってしまったので、土曜日ではない方がいい。雨の場合や台風の時にどうするかがもう少し早く分かると助かる。

Q7 教員の働き方改革の観点から、何か変化やご意見があれば教えて下さい。(自由記載)

【回答】

- ◎特に大きく負担が増えることはなかった。異動に左右されるが、教員以外の指導者もいた方がいい。(今回指導方針に一致していたが、他の指導者も入ると合わなくなる可能性もある)
- ◎体力的なことと考えれば、変化はありませんが、教員としての時間外の事務は減りました。早い段階で平日の部活もできればいいかと思います。

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施人数報告(2月17日現在)

(軟式野球クラブ)

再々々委託:NPOおおずスポーツクラブ

実施日	曜日	会 場	参加人数	指導者名	備考
11月5日	土	徳森運動公園多目的グラウンド	7	上田祐輝・川上建紀	
			参加内訳: 東中2、長浜中4、肱川中1		
12月2日	土	平野運動公園自由広場	7	川上建紀	
			参加内訳: 東中2、長浜中4、肱川中1		
12月9日	土	徳森運動公園多目的グラウンド	8	川上建紀	
			参加内訳: 東中2、長浜中4、肱川中1		
12月16日	土	平野運動公園大洲球場	8	川上建紀	マンダリンパイレーツ指導
			参加内訳: 東中3、長浜中4、肱川中1		
1月13日	土	平野運動公園大洲球場	7	上田祐輝・川上建紀	
			参加内訳: 東中3、長浜中3、肱川中1		
1月20日	土	平野運動公園大洲球場	9	上田祐輝・川上建紀	マンダリンパイレーツ指導
			参加内訳: 東中3、長浜中5、肱川中1		
1月27日	土	徳森運動公園多目的グラウンド	8	川上建紀	
			参加内訳: 東中3、長浜中4、肱川中1		
2月3日	土	平野運動公園大洲球場	9	上田祐輝・川上建紀	
			参加内訳: 東中3、長浜中4、肱川中2		
2月10日	土	平野運動公園大洲球場	9	上田祐輝・川上建紀	
			参加内訳: 東中3、長浜中4、肱川中2		
2月17日	土	平野運動公園大洲球場	8	上田祐輝・川上建紀	
			参加内訳: 東中3、長浜中3、肱川中2		
10日間実施			延べ80人	指導者延べ 16回	

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業実施人数報告(2月29日現在)

(カヌークラブ)

再々々委託:大洲カヌークラブ

実施日	曜日	会 場	参加人数	指導者名	備考
10月1日	日	肱川	5	谷野秀明・杉井	開始式・取材
10月22日	日	肱川	2	谷野秀明	
11月3日	金	須崎市	2		大会
11月4日	土	須崎市	2		大会
11月11日	土	肱川	1	谷野秀明	
11月12日	日	肱川	1	谷野秀明	
11月19日	日	肱川	1	谷野秀明	
11月23日	木	肱川	1	谷野秀明	
11月25日	土	肱川	1	谷野秀明	
11月26日	日	肱川	1	谷野秀明	
12月2日	土	肱川	1	谷野秀明	
12月9日	土	加古川市	1		大会
1月6日	土	肱川	1	谷野秀明	
1月13日	土	肱川	1	谷野秀明	AM・PM
1月14日	日	肱川	1	谷野秀明	
1月21日	日	肱川	3	谷野秀明	
1月28日	日	肱川	1	谷野秀明	
2月3日	土	肱川	1	谷野秀明	
2月4日	日	肱川	3	谷野秀明	
2月10日	土	肱川	1	谷野秀明	
2月11日	日	肱川	1	谷野秀明	
2月17日	土	肱川	1	谷野秀明	
2月18日	日	肱川	1	谷野秀明	
2月23日	金	那賀町	1	谷野秀明	大会(公式練習)
2月24日	土	那賀町	1	谷野秀明	大会
25日実施		計	延べ36人		

地域クラブ活動の中体連主催大会参加について

愛媛県中学校体育連盟

県内小学校6年生のみなさん

令和5年度より全国中学校体育大会に地域クラブ活動が参加できるようになりました。これにともない、愛媛県では、愛媛県中学校体育連盟主催大会と各地区中学校体育連盟主催大会(県大会予選)の地域クラブ活動の参加について、次のように決めました。

◇ 大会参加の方法は、次の3つがあります。

1. 中学校の部活動のみに所属している人

- 今までと変更ありません。

2. 地域クラブ活動のみに所属している人

- 所属団体が愛媛県中体連に認定されていたら参加することができます。

3. 中学校の部活動と地域クラブ活動の両方に所属している人

- 大会には中学校の部活動か地域クラブ活動のどちらか1つで参加できます。(どちらで参加をするのか選択をしてください。)

※ 4月中に中学校で大会参加に関する調査があります。地域クラブ活動の選手として大会に出場することを希望している場合は、必ず中学校の先生に伝えてください。

◇ 地域クラブ活動とは

- 土日、休日に地域の指導者や学校の先生の指導のもと活動している団体
- 地域で集まって地域の指導者の方と一緒に活動している団体
- 個人で入るスポーツクラブ(会費等の有無は関係ありません)

※ 中学校の部活動は含まれません。

注意して下さい!

- 大会参加を希望する地域クラブ活動は、愛媛県中学校体育連盟に団体登録の申請をし、認定を受けていないと参加ができません。所属している団体の責任者の方に、必ず確認をしてください。

※ 自分が地域クラブ活動選手として参加したくても、所属団体が認定を受けていなければ参加ができません。

- 全ての競技で地域クラブ活動が参加できるわけではありません。参加の条件は競技ごとに違います。自分の所属団体に確認をして下さい。

- 4月に、自分が中学校の部活動で大会に参加するのか、地域クラブ活動で大会に参加するのかを決定したら、8月の全国大会終了までは所属団体(チーム)を変更することはできません。

※ 新人大会の時期に、所属団体(チーム)の変更をする機会があります。

- 冬季競技(駅伝、スキー、スケート)への参加を希望する場合は、夏季競技とは別に登録をすることができます。

今後の連絡は、愛媛県中学校体育連盟ホームページを通じて行います。
質問がある場合は、進学予定の中学校に連絡してください。

大洲市の各中学校生徒数推移予想（文化スポーツ課調べ）

（令和5年12月1日現在）

年度	H20年度 出生	H21年度 出生	H22年度 出生	H23年度 出生	H24年度 出生	H25年度 出生	H26年度 出生	H27年度 出生	H28年度 出生	H29年度 出生	H30年度 出生	R元年度 出生	R2年度 出生	R3年度 出生	R4年度 出生	R5年度 出生
	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳	0歳
大洲東中	13	16	17	28	17	12	26	7	17	14	8	13	8	14	2	6 ↑
大洲南中	61	75	55	61	71	54	70	56	63	57	49	49	50	44	46	41
平野中	18	11	14	11	15	13	10	8	9	14	12	10	10	8	6	3
肱東中	30	35	27	32	36	24	25	25	28	21	22	24	19	19	8	4
新谷中	36	37	38	33	35	32	31	22	31	17	29	21	24	26	14	19 ↑
大洲北中	126	135	119	145	125	107	129	114	108	99	129	107	89	99	89	78
長浜中	34	36	38	45	37	38	29	37	24	20	17	15	15	10	9	4
肱川中	12	15	19	15	11	15	8	7	13	8	7	6	7	3	4	10 ↑
肱川中 （河辺）				1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
計	330	360	327	371	347	296	328	276	293	250	273	246	222	223	178	165

R5. 4月～11月生 109人
R5. 12月～翌3月生見込 56人